

編集／発行●山梨県総合農業技術センター

住所●甲斐市下今井1100 〒400-0105

電話●0551-28-2496 Fax.0551-28-4909

http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/sougonoshi/index.html

E-mail sounou-gjt@pref.yamanashi.lg.jp



## 「普及指導体制が変わりました」

専門指導スタッフを配置

### 山梨県総合農業技術センター

総合技術普及センター

YAMANASHI PREFECTURAL AGRITECHNOLOGY CENTER

平成19年度  
各部・課・場

新体制

平成20年度  
各部・課・センター

総務課

総務課

企画研修部

専門指導スタッフ

環境部

環境部

栽培部

栽培部

生物工学部

農業技術普及部

農業技術普及部

調査部

調査部  
(病害虫防除所)

(病害虫防除所)

花き振興部

高冷地野菜・花き  
振興センター

高冷地分場

平成20年4月から新たな普及指導体制の元で、やまなし農業ルネサンス大綱の実現に向けて効果的・効率的な普及活動を実践していきます。

新たな普及指導体制の特徴は、総合農業技術センターへ「専門指導スタッフ」を配置し、緊急的、広域的な課題に対し、普及組織が一体となって取り組むよう普及関係機関等と連携・調整を行うとともに、経営指導や担い手育成、環境保全型農業、普及教育の専門的な普及活動を展開します。

また、「普及センター」の名称を表示しました。農家の皆様にわかりやすくするため、農務事務所には「地域普及センター」の名称を表示し、総合農業技術センター、果樹試験場、畜産試験場には「技術普及センター」の名称を表示しました。

今後とも、試験研究やJA営農指導と密接な連携を保ちながら、農家の皆様の身近な「普及センター」として支援を行うとともに、山梨県農業・農村の発展に向けた普及活動を推進していきたいと思っております。

平成20年6月 総合農業技術普及センター

所長 山本 一



県普及指導員とJA営農指導との合同研修会



## JA営農指導との連携強化

県とJAグループ山梨では、農家に対する営農指導の強化を図るため「JA営農指導と県普及指導活動との連携方針」を策定し、互いの役割分担や農業者への期待に応えられるよう指導者としての資質向上に向け取り組んでいます。



防除説明を兼ねた剪定講習会



関係機関との現地確認

## 環境にやさしい栽培を推進 **「中北地域普及センター」**

近年、良好な農村環境の形成や環境を重視した農業生産への取り組みが求められており、消費者からの関心も高まっています。そこで、平成19年度から環境保全に向けた先進的な営農活動に取り組む地域を支援する「農地・水・環境保全技術向上対策、営農活動支援」が導入されました。中北地域では、南アルプス市塩前地区、西野・今諏訪地区、韮崎市中条地区の3地区の果樹栽培（もも、すもも、キウイフルーツ）で実施しており、平成19年度は約300戸の農家が、エコファーマーの認定を受け、約120haの果樹園でフェロモン剤や有機質肥料の利用による、化学合成農薬3割削減、化学肥料5割削減に取り組んでいます。

今年度は、南アルプス市百々地区でも取り組みがスタートし、農家、出荷団体、JA、行政等関係機関の連携により、導入技術の定着や新規取り組み地区の拡大など、地域ぐるみで環境にやさしい栽培の推進に取り組んでいます。



熱心に説明を聞く受講生

## 「セミナー」で新規就農者の栽培技術向上を支援 **「峡東地域普及センター」**

峡東地域は、本県を代表する果樹産地ですが、近年、担い手の減少や高齢化が進み、産地を支える担い手の確保・育成が大きな課題となっています。峡東地域普及センターでは、担い手の確保・育成対策として、市やJA等の関係機関と連携し、新規就農者等（概ね就農5年以下）を対象にした「果樹技術向上セミナー」を開催しています。このセミナーは、現地講習会を主体に基礎知識を学習する基礎セミナーと栽培の実践を習得する実践セミナー（モモ、ブドウの2コース）に分け、年間15回程度開催しています。

本年度も5月7日の開講式からスタートし、現在84名が受講しています。受講者は、若者から団塊の世代まで幅広く、また、経験や技術レベルも様々ですが、一日も早く技術の習得や向上に結びつくよう支援していきます。

# やまなし農業ルネサンス大綱の実現に向けて 普及センターの新しい指導体制

RENAISSANCE  
OF  
AGRICULTURE  
IN  
YAMANASHI



## 「甘々娘」が今年も大盛況!

大好評の収穫体験



出荷される甘々娘

## 「峡南地域普及センター」

JA西八代管内は、スイートコーン「甘々娘」の全国一の産地です。「甘々娘」は、平均糖度16度以上というメロン並みの甘さとコクを兼ね備える一方、発芽率が低く、房も大きくなりにくいので、栽培には技術が必要とされます。そこで、JA西八代野菜部会では、普及センターと連携し、講習会や目合わせ会などを通して部会員の技術統一を図り、品質の高い「甘々娘」を生産出荷しています。その結果、今年も市場や消費者から高い評価を頂くことができました。また、野菜部会では「甘々娘」の美味しさを多くの人に伝えるため、地元での収穫祭や収穫体験などを通じて、積極的なPR活動を展開しています。

今後も峡南地域普及センターでは、産地の維持発展のため、栽培技術はもとより販路の拡大に向けて支援を行っていきます。



クラブ員による田植え作業と収穫体験

## 田んぼクラブの活動紹介

（都留市田原地区） **「富士・東部地域普及センター」**

「田んぼクラブ」は、将来指導者となる学生が食の重要性を学んだり、地域との交流を深めるよう、都留文科大学の学生と先生が結成したサークルです。

平成17年から、都留文科大学（クラブの運営）、都留市（借地契約）、農業委員（農作業指導）、JAみふじ（施設・機械支援）、農務事務所（ふるさと水と土基金活用、栽培指導）が協力・連携しながら進め、平成19年度の稲刈りには地域の小学生も巻き込んだ活動に発展し、参加者の交流が図られています。



## 伝統野菜「鳴沢菜」の生産拡大



富士山の麓で収穫される鳴沢菜

## 「農業技術普及センター」

鳴沢菜は、富士北麓地域に位置する鳴沢村で江戸時代から栽培されている伝統野菜で、主に漬物に加工して食べられています。

農業技術普及センターでは、在来種の中から選抜した収量性が高く加工に適した鳴沢菜を、平成17年から、富士・東部農務事務所、鳴沢村役場、JA鳴沢村と連携しながら農家への普及に取り組んでいます。生産した鳴沢菜は契約している漬物業者が「鳴沢菜漬け」に加工し販売しています。消費者からは、「茎が細くてやわらかい」、「シャキシャキした食感でおいしい」など好評であることから、漬物業者からは生産の拡大と周年供給が求められていました。

そこで、平成19年に、新作物として春まき栽培の技術確立を図り、今年の契約栽培面積は、前年の4倍以上の80aが見込まれています。



ワイン原料として注目される甲州種

## ワイン原料としての甲州種の品質向上

## 「果樹技術普及センター」

果樹技術普及センターでは、試験研究部門の成果等を踏まえて、新しい栽培技術や品種の導入などに向けて、現地での実証試験などに取り組んでいます。

山梨県は日本一のワイン産地ですが、さらに発展するためには高品質な原料用ブドウの安定生産が必要です。県では、ワイン酒造組合等と連携し、平成19年度から「ワイン産地確立推進事業」に取り組んでいます。

甲州ブドウは生食とワイン原料の兼用種として長く栽培されてきましたが、近年、特にワイン原料として注目されています。高品質ブドウの生産技術を確立するため、今年度は高品質な甲州ブドウを生産している園の栽培管理やほ場環境の把握に取り組んでいます。



分析のための土壌採取



## 耕作放棄地の解消に肉用牛の放牧を!

「畜産技術普及センター」



放牧前と放牧7週間後の状況

各地の放牧研究会では、耕作放棄地の有効活用を図るため肉用牛の放牧の取り組みを行っています。この取り組みは、荒れ果てた農地の野草を牛がエサとして食べることで放棄地はきれいな農地としてよみがえり、低コストでの農地管理が可能となるとともに、鳥獣害の発生防止効果もあります。

また、肉用牛農家にとっても野草をエサとして活用できることから飼料費の削減や飼養管理の省力化、繁殖肉用牛を放牧することで肥育素牛の効率的生産につながるなど、大きなメリットを併せ持ちます。

今年度も県内各地で耕作放棄地への肉用牛の放牧が始まっています。この取り組みが今後ますます活発になっていくよう、市町村はじめ関係者の皆様方のご支援をお願いいたします。

お問い合わせ先

- 東部地区放牧研究会事務局(東部家畜保健衛生所内)TEL.055-262-3166
- 西部地区放牧研究会事務局(西部家畜保健衛生所内)TEL.0551-22-0771

## 気をつけよう 農作業中の事故



農作業中の死亡事故は、全国で400件近く発生しており、そのうち農業機械による事故が約7割を占めています。

今後、農業機械を使う機会が多くなりますので、次の点に留意し安全な農作業に努めましょう。

- 作業時はきちんとした服装をする。
- 柵・支柱等へは目立つような印を付ける。
- ほ場の出入り、あぜ越えに注意する。
- できる限り一人での作業は避ける。
- 点検・整備の時にはエンジンを停止する。
- 取扱説明書・安全ラベルを理解する。

## ●普及センター名と連絡先<保存版>

普及センター名(管轄市町村)	電話番号、所在地
<b>中北地域普及センター</b> (甲府市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、中央市、昭和町)	TEL.0551-23-3291 FAX.0551-23-3098 韮崎市本町四丁目2-4 (北巨摩合同庁舎 中北農務事務所内)
<b>峡東地域普及センター</b> (山梨市、笛吹市、甲州市)	TEL.0553-20-2707・2830 FAX.0553-20-2709 甲州市塩山上塩後1239-1 (東山梨合同庁舎 峡東農務事務所内)
<b>峡南地域普及センター</b> (市川三郷町、南巨摩郡)	TEL.055-240-4116・4131 FAX.055-240-4117 西八代郡市川三郷町高田111-1 (西八代合同庁舎 峡南農務事務所内)
<b>富士・東部地域普及センター</b> (富士吉田市、都留市、大月市、上野原市、南都留郡、北都留郡)	TEL.0554-45-7806 FAX.0554-45-7833 都留市田原三丁目3-3 (南都留合同庁舎 富士・東部農務事務所内)
<b>総合技術普及センター</b> (県下全域)	甲斐市下今井1100 (総合農業技術センター内)
<b>専門指導スタッフ</b>	TEL.0551-28-2952 FAX.0551-28-2490
<b>農業技術普及部</b>	野菜専門科 TEL.0551-28-2933 FAX.0551-28-2490
	花き専門科 TEL.0551-28-2973 FAX.0551-28-2490
	作物特作専門科 TEL.0551-28-2937 FAX.0551-28-2490
<b>果樹技術普及センター</b> (県下全域)	山梨市江曾原1204 (果樹試験場内)
<b>果樹専門第一科</b> (峡東、富士・東部管内)	TEL.0553-22-1922 FAX.0553-23-3816
<b>果樹専門第二科</b> (中北、峡南管内)	TEL.0553-22-1928 FAX.0553-23-3816
<b>畜産技術普及センター</b> (県下全域)	TEL.055-273-6441 FAX.055-273-9423 中央市乙黒963-1 (畜産試験場内)